

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大宮ソニック市民ホール
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5 ソニックシティビル4階</p> <p>②施設の設置目的 市民文化の向上及び市民相互の交流を促進する</p> <p>③施設の概要 開 設／昭和63年4月8日 構造等／(ソニックシティビル全体)鉄筋コンクリート造地上31階 地下4階 面 積／(ソニックシティビル全体)敷地面積 7582.92㎡ (市民ホールのみ) 延床面積 814.76㎡ 集会室／ 第1・第4集会室(401・404) 各171.00㎡(定員 90席) 第2・第3集会室(402・403) 各185.00㎡(定員 111席) 第1集会室から第4集会室まで連結して使用可能</p>
(3)指定管理者	公益財団法人埼玉県産業文化センター
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 指定期間中の利用料金収入の見込みが管理運営経費を超えるため、指定管理料はなし。</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 2,606件(前年度 2,493件) ・稼働率 89.0%(前年度 84.0%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用受付及び利用に関する打合せ ・施設利用時の設備・備品の貸出しとセッティング ・施設利用時の空調設備等の稼働 ・インフォメーションコーナーでの催事案内 ・ホームページ等による利用促進案内 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の点検、清掃、警備、修繕、防災業務 <p>③その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画 ・“BONSAI”の町 ミニ盆栽教室 ・『～心も体も健康に～大宮アルディージャ インドア・スポーツフェスタ』in ソニックシティ ・てっばく出張！楽しく学ぶ『鉄道の歴史とクラフト体験』
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 36,663千円(前年度 34,603千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 11,606千円(前年度 10,333千円) ・事務費 1,551千円(前年度 1,566千円) ・施設管理費 9,924千円(前年度 10,205千円) <p>③納付金 16,000千(前年度 14,600千円)</p> <p>【自主事業】</p> <p>①収入 0円(前年度 0円) ※参加費無料のため</p> <p>②支出 699千円(前年度 987千円)</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	飲食、清掃状況にかかわる改善要望が寄せられたため、各業者と連携し改善に向けて検討中。
(8)その他	—

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
さいたま市の地域資源を活用した事業の実施	さいたま市が有している歴史伝統文化などの資源を活用し、地域で活動する団体と連携した事業を実施した。「アルディージャ」との事業は、昨年までの平日開催から、初めて土曜日開催に変更。子育て世代を主なターゲット層にて実施し、満席の申込みとなった。鉄道博物館と協働した「てっばく出張！楽しく鉄道を学ぼう！」も、前年度よりも参加者が増加した。これからも地域文化の振興や市民相互の交流を図っていききたい。
ホームページやSNS等を活用した継続的な情報発信	ホームページにおいて事業の広報を行うと共に、メールでの利用申請の受付を開始することで、利用者がよりスムーズに申し込めるようになった。 また、市報をはじめSNS等でも市民向けに広く発信し、利用促進に努めた。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

高稼働を誇る施設を適切に管理するため、安心安全な利用環境の提供を念頭に施設の運営及び事業の実施にあたった。

令和5年度は、コロナ禍の影響が依然としてやや残ったものの、利用率・利用料金ともに回復傾向を見せた。

また利用者サービスの一環として、各室の違いを視覚的に識別しやすくするため、各室の入口に絵柄の異なるヌイラストの貼付を行った。これにより、各室への案内がしやすくなり、利用者からの問合せも減少した。

令和6年度は、ヌイラストを十分に活用した案内を展開するとともに引き続き安心安全を第一に、利用者サービスの向上に努めていきたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部市民生活安全課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、人気のイベントを土曜日開催に変更するなど、利用者のニーズに合わせて事業を見直すと共に、市報やSNS等を活用し継続的に情報発信を行うことで、利用件数及び稼働率が前年度を上回る結果となった。

また、職員の接客対応についての利用者アンケートでは、前年度に引き続き「大変良い」「良い」が前期及び後期ともに100%を達成するなど、高い評価を得ることができた。

②経費の削減については、デジタル化を促進しペーパーレスに取り組むことで、印刷製本費及び消耗品費の削減に努めた。

③適正な管理運営の確保については、全職員を対象に情報セキュリティに関する研修を実施したほか、利用者安全確保のための訓練を実施することで、職員の資質向上を図った。

2 総合評価

各項目について、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行うことで、利用件数及び稼働率の向上に資する新たな取組等の検討・実施に努めていただきたい。

また、職員を対象とした研修や訓練を継続して行うことで、職員の接客対応に対する高い評価を維持できるよう、取り組んでいただきたい。